

2024年6月25日(火) 玉や(木曾岬) ツレと
 中潮 旧5月20日 小鈴谷漁港(セントレア空港近く) 満潮07:24(224cm) 干潮14:21(12cm)
 私 キス:ピンギス~18cm 50尾(リリースを含む)
 ツレ キス:ピンギス~19cm 49尾(リリースを含む)
 ※今年はキスがが多い。終日釣れていた。

潮の関係で釣っている時間が短かった。

5時00分 出船
 7時24分 満潮(小鈴谷漁港224cm)
 10時00分 納竿
 11時00分 港着



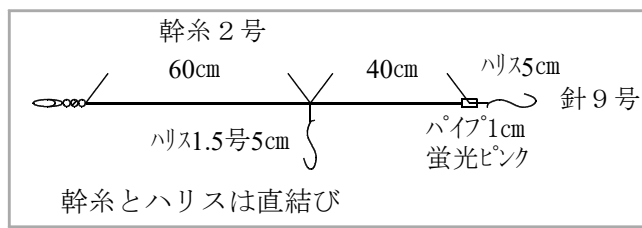
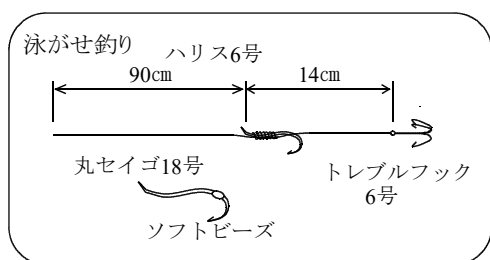
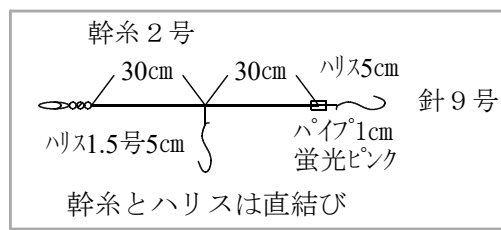
【仕掛け】 天秤仕掛け おもり12号~20号

自作仕掛け 全長65cmと105cm
 市販仕掛け 全長75cm

3種類とも使ったが、釣果に差が出たとは感じなかった。
 仕掛けが長いと投げにくい。

マゴチ狙いの泳がせ仕掛け(孫鉤付き:自作)

名古屋天秤、おもり25号



【料金】 ¥9,000 (消費税込み) 餌付き

昨年より値上げしていた。エサはイシゴカイではなく、青イソメだった。

【様子】

- 天気予報を見て前日に予約した。
- 今日は乗り合いのキス釣り一艘のみ。お客さんは4組5名。
- ポイントカードがあったらしいが、…。(昨年の記録から)
- 日陰に入りたいことから右舷側に座った。
- 曇り、風なし、波なし。釣りやすい天気だった。
- セントレア空港の南東端から流し釣り。終日同じ場所だった。
- マゴチ狙いでは、小さなイカが乗っていたがばれてしまった。当りはこれのみだった。同船者がマゴチを釣った。
- 終日、当たっていた。よく釣れた。
- 当たっているが釣れていないということがしばしばあった。エサが青イソメだからだろうか。
- 青イソメはイシゴカイより固くエサ持ちがよい。しかし、イシゴカイの方が食い込みがよいと記憶している。このことから、十分に飲み込ませるよう心がけた。当たりがあってもすぐに巻き上げない、確実に掛かっていることを確認して巻き上げた。
- 青イソメは太いので、短く切った方がよいように感じた。
- たくさん釣れることが分かっていたので、ピンギスをリリースすることに努めた。

○その結果、釣果は二人で99尾、キープしたのが53尾、帰宅後、確認したところ、ペンギス15尾が残っていた。リリースすべきペンギスは61尾だったことになる。掛かったキスの3分の1がキープサイズ、3分の2がリリースサイズとなる。

※釣の飲み込んだペンギスは死んでしまう。海に戻すか、持ち帰るか。死んでも何かのエサにはなるだろうが、…。

○今日の竿頭は130尾。竿は2本で、3本釣仕掛けを使っていた。投げて置き竿にしていた。

<以前の記録から>

船長が置き竿で数を伸ばしていた。船長に仕掛けを尋ねた。「全長1mで、端から50cmに枝針を付ける。船が流れていくので誘いを掛ける必要はない。置き竿でよい。」

○自分たちは誘いを掛けて釣る。誘って釣ることを楽しんでいるため、これまでのスタイルでよい。ペンギスはたくさんリリースすればよい。

○今日はたくさん誘った方がよく釣れた。

<以前の記録から>

○ダブルを狙う。当たりがあったら、確実に掛かっていることが分かるまで待つ。これによりダブルを狙う。

○その日にあった誘いと誘いの間を見極める。

・誘った方が良いとき、①竿先をチョンと1回あおる。②竿先をチョンチョンと2回あおる。

・誘わない方が良いとき、①まったく誘わない。②誘いを掛ける間隔を十分に取る。

【次回に向けて】

○玉やの乗合船では、自作仕掛けは全長65cmでよい。

→ 投げて誘う

風や潮の影響で船の移動が速いときのために全長105cmを持参する。

→ 置き竿にする

○仕掛けは一人3セットあると安心である。